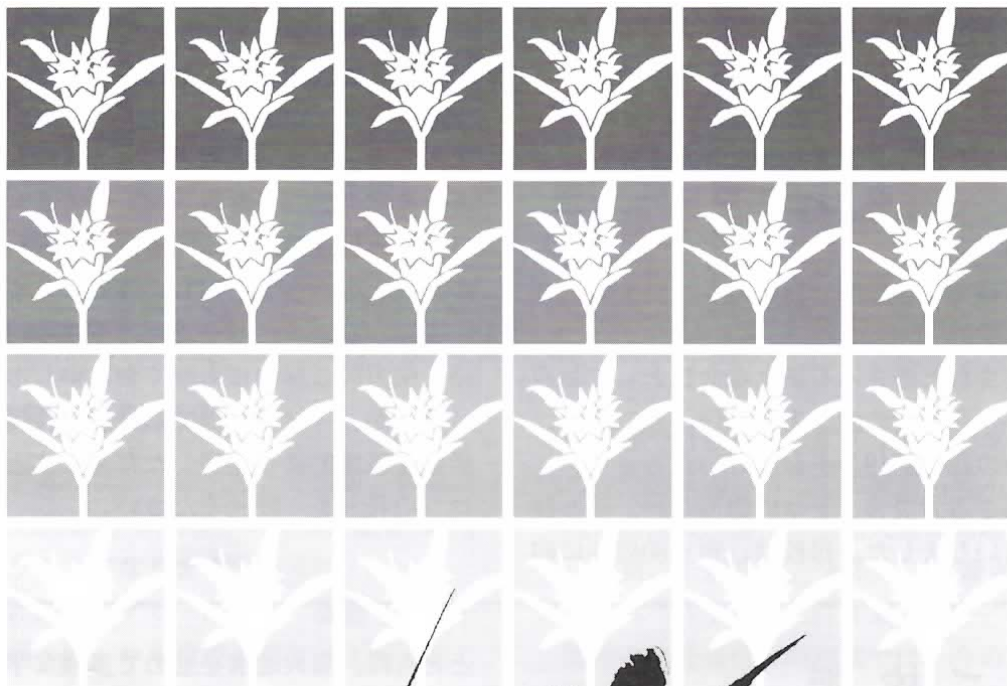




同窓会報

第 19 号

平成27年度総会・懇親会のお知らせ

日 時 **5月23日** (土) 総 会 午後 2 時～ (受付 1 時30分～)
懇 親 会 午後 3 時～ (受付 2 時30分～)

場 所 三井ガーデンホテル千葉 (千葉パルコ前)
☎ : 043-224-1131

会 費 **7,000**円 (当日受付にてお支払いください)

懇親会だけの出席も大歓迎です。恩師の先生方も多数ご出席いただいております。本年は昭和49卒高校第26回生の皆さんが幹事団を組んで取り組めますが、卒業生はどなたでも出席できますので、お誘い合わせの上ご来場下さい。お問合せ・お申込みは、5月10日までに同窓会事務局(☎:043-251-9221)へ。

「シャロンの花」は校歌の歌い出しです。

昭和26年、創立10周年記念に沢田繁二教頭先生が作詞され、制定されました。この校歌は、他校にはない美しい響きを持つ詩で綴られています。同窓会報を創刊するにあたり、懐かしい言葉「シャロンの花」をタイトルにいたしました。

シャロンは、イスラエル西部の地名です。その地に咲く白い可憐なシャロンの花は、旧約聖書で「純潔」の象徴とされています。

平成27年 3月10日発行

(表紙タイトル・イラストデザイン 昭和35年卒 北川広志)

発行者 千葉県立千葉東高等学校
同窓会会長 井戸川 浩

編集部 千葉県立千葉東高等学校同窓会事務局内
〒263-0021 千葉市稲毛区轟町1-18-52
TEL 043-251-9221 FAX 043-255-6575

印刷所 (株)宮坂印刷 TEL 043-251-4537 FAX 043-251-4535



同窓会報「シャロンの花」 第19号発刊ご挨拶

千葉県立千葉東高等学校同窓会
会 長 井戸川 浩
(高校第11回S34卒)

同窓会会員の皆様並びに恩師の先生方お元気でお過ごしのことと思います。

また、本年卒業された皆さんを新たな会員としてお迎えするにあたり心から歓迎の意を表したいと思います。

会報「シャロンの花」第19号をお届けいたします。

世界は予測されざる大災害、テロの恐怖など、益々混沌の度を深めてまいりました。母校は、創立80周年に向

かって着実に歩んでおりますが、こうした混沌の中でこそ「絆」が大切です。

同窓会報「シャロンの花」は、同窓生の心のふるさとであると同時に同窓生としての「絆」を確かめる場でもあります。脆弱な財政基盤の中でもコツコツ発行できたのも、母校愛あふれる同窓生の皆様からの継続的な寄付のお陰と心から感謝申しあげております。

また、日々の活動を支えて下さった校長先生をはじめ諸先生方のご尽力にも厚くお礼申しあげます。

どうか、今後も発展する母校の後援会として、同窓会活動を積極的にご支援いただきますとともに、会報「シャロンの花」をご愛読ください。



ご 挨 拶

同窓会名誉会長 (学校長)
三上 浩司

昨年の4月に着任いたしました三上と申します。何とぞよろしく申しあげます。

同窓会会員の皆様におかれましては、日頃より母校の教育活動に多大なご理解とご協力をいただき、心よりお礼申しあげます。

着任以来、学校の様子を見るにつけ、本当に高校らしい高校だなあという思いを強くします。常々言っていることですが、本校の誇りは生徒です。何事にも真剣に一生懸命取り組み、全力を尽くすその姿は、同窓生の皆様が築いてきた歴史と「東高魂」と呼ばれる精神を見事に引き継いでいると思います。

ここで、今年度の活動を振り返ってみます。

① 5月から始まった管理棟の耐震化工事は、12月末に無事に終了しました。

② 進学指導重点校として、引き続き授業を大切にする

とともに、高大連携を進めて多様な学習の機会を設定しています。また、千葉大学の留学生に來校してもらい、科学系部活動と交流するプログラムも成果を上げています。

③ 本校は、千葉県内に10校あるユネスコスクールの事務局校として活動しています。校内では、6月の講演会やESD手帳の配布等を通じて持続可能な開発、環境問題、教育問題等を考えさせています。また11月の岡山でのユネスコスクール世界大会高校生フォーラムに代表生徒を派遣しました。

④ 国際交流を積極的に展開しています。11月のアジアアカデミー総合学科、12月のマレーシア修学旅行受入れ、など。3月末には米国と豪州に海外派遣を予定しています。今後も様々な機会を設定する予定です。

⑤ 今年度の部活加入率は102%、生徒は、学習との両立を図りつつ日々の練習や活動に励んでいます。

学校が、活気にあふれ、生徒が多方面で活躍できるのも同窓会の皆様の変わらぬ母校愛と、絶大なるご支援のおかげです。教職員一同、千葉東高校のさらなる発展のために全力を尽くしますので、引き続き応援をお願い申しあげます。あわせて、同窓会のますますの御発展を御祈念申しあげております。

人間生命の運動法則を研究する科学

千葉人間科学協会

理事長 小塚興作 (高校第11回卒)
千葉市若葉区桜木7-5-64

☎043-231-9215

パソコンの設定・ホームページ作成・ホームページレンタルなど……パソコン・ネットワーク関係

お気軽にご相談下さい。

ネットオフィス K

代表/加藤光也 (昭和54年卒)

URL: www.office-k.net

お問い合わせ、ご相談はメールもしくは上記ホームページからお願いします。メールは携帯からも送れます。

連絡先メールアドレス: mail:nbbo1043@nifty.com

fax: 047-404-6427

平成26年度 千葉県立千葉東高等学校同窓会総会報告

平成26年度の同窓会総会・懇親会が平成26年5月17日(土)千葉市の三井ガーデンホテル千葉で開催されました。

まず、会長から「創立してから73年、卒業生も3万人あまりとなり、大変歴史のある学校となった。また在校生も、文武両道のもとに体育系・文化系部活も含め大活躍をしており、我々卒業生としては誇らしい限り。同窓会は学校を縁とする「絆」集団。今後も、師弟間交流、同学年交流、異学年交流を推進する」旨の挨拶があり、続いて、同窓会名誉会長である三上校長から「この春に千葉東高校に着任して、誇らしいと思うと同時に重責も感じている。卒業生の皆様には東高の教育活動を陰から支えて頂き、厚く御礼申し上げたい。本校の進学実績は現役合格率71%と良好。部活動や学校行事にも活発。山岳部は県大会で男女とも優勝し全国大会に出場など体育系文化系がさまざまな活動をしている。今後ともご理解ご支援お願いしたい」旨挨拶。

ついで、小川常任幹事から、来賓として同窓会総会資料に記載された先生方のほか、高橋清英先生、渡邊茂道先生、山中操県議会議員、田沼隆志衆議院議員を紹介した。

来賓代表として、渡邊茂通先生から「平成26年度総会開会、誠におめでとうございます。卒業生の校長として母校に3年間いて生徒も先生方も同窓会もみんな頑張っているな、それが今の東高の飛躍につながっているのだと痛感していました。母校および皆様の発展とご活躍を心よりお祈り申しあげます」との挨拶があった。

その後、小塚書記を議長として議事に入り

(1)平成25年度事業報告(井戸川会長) (2)平成25年度決算報告(石橋副会長) (3)監査報告(澤田監査役) (4)平成26年度事業計画(案)(井戸川会長) (5)平成26年度事業予算(案)(石橋副会長)が審議され、さらに、渡邊茂道氏が新常任幹事として推薦され満場一致で可決され総会は終了した。(同窓会書記 市原 俊介 高校第45回H5卒)



同窓会総会後の懇親会報告

ひょうんなことから

2年前のある日、私の職場に電話がかかってきました。相手は、数年前に千葉市役所の研修会で40年ぶりに再会した高校同期の小川さんからでした。「東高校同窓会があり、毎年還暦を迎える卒業生が懇親会の幹事をする」との話を聞いて、「それはなんだ？」というのが正直な感想でした。同窓会の皆様には大変申し訳ないことですが、千葉市に住んでおり時々東高校の前を通ることはありましたが、大学入試で浪人した時代に高校を訪問して以来、高校の敷地に足を踏み入れたことはありませんでした。また、高校生活3年間は男ばかりの学級でしたので、

今までにクラス会を開催することはありませんでした。

2年前から準備

偶然の出会いから幹事を引き受けることになり、2年前から幹事が集まって懇親会の準備がスタートしました。各クラスから集まった幹事たちも、私にとっては40年ぶりの再会でしたが、それぞれの立場で活躍している方や友人を通したつながり



次年度当番幹事である長谷川功さんの決意表明

のある方がいるなど、もっと早くに再会していれば自分自身の生活や仕事に役立てることができたのという反省でした。また、同窓生の参加者を見ても「この人も卒業生だったのか」と驚くことが多々ありました。

何十年ぶりかの校歌斉唱に感激

100人余の 輪、和、話

懇親会は、恩師の先生方をはじめとして100名を超えるたくさんの同期の方に参加していただき総勢130人ほどになり、多くの方々と懇親を深めることができました。

特別 インタビュー 夢をかたちに



三上学校長に聞く

(平成26.12.15. 於:母校校長室 聞き手:井戸川同窓会長)

母校は、本年4月の異動で三上浩司新校長をお迎えした。約8ヶ月を経過したところで母校の現在についてお聞きした。おりしも、母校の事務棟などの管理棟が耐震工事中であった。(教室などの生徒棟の工事は過年度に終了している)

—— お忙しいところ、お時間を頂きありがとうございます。早速ですが、着任した時の率直なご感想からお聞きしたいのですが。

〈第一印象は緊張感溢れる高校らしい高校〉

三上校長先生(以下敬称略):私は母校に隣接する千葉大学の出身で、近くに千葉東高校があることは知っていました。縁あってこの高校に着任できたのは望外の喜びです。先ずは、都市部の学校であることを改めて感じました。前任校が、船橋西部の森に囲まれた学校だったので、なおさらです。同時に敷地の狭さにも少々驚きました。しかし、「高校らしい高校だなあ」という印象でした。生徒諸君については、まじめで何事にも一生懸命に取り組むという評判を聞いていましたが、その通りであることはすぐに分かりました。たとえば、授業中に、廊下を歩いてみると教室の外まで緊張感が伝わってきて、真剣さを肌で感じます。反対に放課後になると部活動の活気が学校全体にみなぎるのです。

—— 同窓会の活動状況をご覧になって如何でしょう。

三上:同窓会は、2ヶ月に1回役員会が開かれ、また5月の総会・懇親会にも多くの皆さんが参加され活動が

そして、私から、次年度の当番幹事である長谷川功さん(高校第26回S49卒)にタスキを引き継いで頂き幹事長の大役をおえました。

最後に、母校最初の国会議員田沼隆志氏(高校第46回H6年卒)をリーダーに会場全体に響き渡る校歌斉唱で大変な盛り上がりを見せました。

人の輪が広がり、和が深まり、話が広がった懇親会でした。

(平成26年度同窓会・懇親会
幹事長 奥村 兼弘 高校第25回S48卒)

活発だなと感じました。常に、母校生徒の活動への支援や、とりわけ先生方の教育活動への支援・応援にはとても感謝しています。特にこのたびの夏季の耐震化工事に伴う職員準備室の高温化対策については、緊急対応としての空調機設置を頂き感謝に堪えません。

〈同窓会は先生方の応援も大事〉

—— そうですね。生徒の活動に対する支援は当然としても、私たち同窓会は、そういう生徒を訓導される先生方への応援を強く意識しています。何よりも、未来を担う若者を指導・育成する任務に人知れず汗をかいていらっしゃるということに畏敬の念を持っているからです。今夏の異常高温に対しては、そうした熱心な先生方の健康を守るという観点から緊急の対応として空調機を設置させていただきました。先生方にとってほんの一部でも、同窓会がささやかなつかい棒でありたいと願っています。ところで、本年度の教育目標についてお聞かせ下さい。

〈グローバル社会で活躍できる生徒像〉

三上:はい。本校は昨年度に引き続き「グローバル社会で活躍できる人材の育成」を掲げています。具体的にどのような人材かというのは決まり切った形があるわけではありません。このあたりは、むしろ同窓生の皆さんにいろいろお話を聞かせていただきたいと思います。

—— 「先輩による海外ビジネス体験」といったようなものでしょうか。実現できるように宿題にさせてください。

三上:高い学力を基盤とした豊かな人間性を伸ばすことを重点目標にしました。それが人格形成上の骨格となると考えているからです。そのため、「生徒の良さを認め、生徒の主体性・積極性を伸ばす」こと、「生徒の悩みを親身に受け止め、一人一人を丁寧に育てる」ことに力を注いでいます。

—— 生徒の将来像についてどんなイメージをお持ちですか。

三上：本校の生徒は、急速にグローバル化する社会において、やがてリーダーとして活躍するでしょう。自分の考えを明確に持ち、主体的に生きることが求められるはずです。同時に、他者の文化や考えに共感し、協働する能力も試されるのではないのでしょうか。ですから、異なった価値観や文化的な背景を持った他者を理解できる人間として成長してもらいたいと考えています。——その具体的な取り組みはどんなことでしょうか。

〈教育力のある先生方が多い〉

三上：学校の体制としては、本校には力のある先生方が多数在籍していますので、先生方一人一人が存分に力を発揮できるような集団であるために、そうした意識づくり、体制づくりを心掛けています。生徒の学力を伸ばすためには、まず質の高い授業を行ってもらうようにしています。また、従来よりも課題の量をコントロールして、自分で考えて答えを得るとか道筋をたどるとかするように、主体的に学習するように促しています。しかし、読書量が少ないなど気になることもあります。

——図書室の活用も大切ですね。スマホなどでインターネットから得る情報は一次情報としてはいいのですが、自分で資料にあたって自分で考えて結論を導き出すには、図書室の活用が避けて通れませんね。

〈先輩からの良書寄贈など図書室の充実はありがたい〉

三上：はい。そういう意味でも、同窓会の皆さんからの図書の寄贈はありがたいですね。青年期の読書は、人格形成上も大きな影響を持つ非常に大事なものだと思いますから。また、千葉大学をはじめとして、大学との連携も進めて、早い時期に学問的な関心を高めていけるような取り組みをしています。

——そうですか。お役にたてて何よりです。図書増強は、これからも引き続いて実施してまいります。ところで、国際面ではいかがですか。

〈活発な国際交流〉

三上：国際理解を進めるために、海外の人々と交流する機会を設けています。従来の米国に加え、オーストラリアの高校との相互留学、千葉大東南アジア留学生との科学系部活動生徒の交流、森田知事の肝いりでマレーシアの高校の修学旅行受け入れなどです。更に、千葉県のユネスコスクール10校の事務局長として、11月の世界大会へ代表生徒が参加しました。こうした取り組みの中から、海外へ目を向け始めた生徒が出てきました。

——盛りだくさんの取り組みですが、生徒の負担感

ないのですか。

〈必要なこころの健康支援体制〉

三上：本校の生徒は勉強に、部活動にと一生懸命取り組みますので、大変に忙しい学校生活です。その苦勞を乗り越えて得るものは大きいと確信しますが、一方で疲れも見受けられます。そのため、保健室を中心として、心身両面で生徒が相談しやすいようなこころの健康支援体制を充実させています。

——これからの課題についてお聞きます。

三上：本校は単位制を採っていますので、多くの講座を少人数で受講できるメリットがあります。しかし、そのためには、教室や講義室が不足していることが悩みです。その一方で、本校は学習指導の指針として、「教養の復興」を掲げています。これにはこれからの社会を支える人材として、幅広い教養を身につけて欲しいという願いが込められています。また、進路についても「夢をかたちに」をスローガンとして、第1希望実現のために、計画的で丁寧な進路指導を行っています。

——最後に、今後の展望をお聞かせください。

〈自信を持って夢をかたちに〉

三上：本校は、県内では伝統校・進学校として確固たる地位を築き、中学生からの人気も高い学校です。しかし、これに甘んじることなく、新たな魅力を追加して、更なる発展を目指したいと考えています。同時に、生徒諸君にはもっと自分に自信を持ち、さらに志を高く持ってほしいと願っています。いつの日か各界のリーダーになりうる資質を持った生徒ばかりですから、自分の力を未来の社会のために生かすという視点を忘れないようにしてほしいと願っています。

——どうも、長時間にわたり有意義なお話をいただきましてありがとうございました。母校が益々発展していくことを願って、これまで以上にご支援できたいと念願しています。

ギャレックスチバ株式会社

代表取締役 澤田繁信 (昭46年卒)

千葉市中央区今井3-1-9

[TEL] 043-261-4528

[FAX] 043-265-5446

[mail] info@galaxchiba.jp



オリジナルマーキングは当社へ

母校支援

図書室充実にあわせて

書籍寄贈についてお礼

平成25年度の東雲祭で、「古書市」を行うにあたり、広く寄贈を呼び掛けたところ、多数の方々のご協力で来場者に多くの書籍や雑誌を提供することができました。一昨年来、同窓会のご尽力で卒業生の方への書籍寄贈の声掛けが積極的に行われ、従来の蔵書の新しい仲間となってその役割を果たすことができます。書籍の他にも日ごろから同窓会には図書館活動に対してご配慮、ご協力を頂き、感謝の念で一杯です。

早朝、昼休み、放課後一常に生徒が利用する図書室ですが、「読書の間」という以上に、自学自習の間になっていることに複雑な思いもあります。

「本を読みたい」という契機をつくる、魅力のある図書室になるように図書委員の生徒たちを中心に努力してまいりますので、これからも社会人としてのご経験やご知見を活かした書籍のご提示、ご寄贈をお願いします。

★寄贈図書の一部をご紹介します。

田中 英子様（高校第14回S37卒）

谷崎潤一郎訳 新々訳源氏物語全10巻

世界文化シリーズ 14冊 他

匿名希望

学研グラントハイベスト教科事典16巻 他

O・Y様（高校第22回S45卒）

佐伯泰英、桐野夏生等の小説、上野千鶴子、須賀敦子等の評論、随想等62冊

井戸川 冽様（高校第13回S36卒）

五木寛之作品集他、小説、エッセー、事典等116冊

井戸川篤子様（S34卒 井戸川 浩氏の母）

瀬戸内寂聴訳 源氏物語全巻

矢仲 重信様（S34卒 井戸川 浩氏の知人）

赤ペン道中記（CT・MRI開発の話）

（図書室 池田富美子）



同窓生からの図書の寄贈をお願いします。

生徒の多ジャンル分野の図書へのアクセスのために、同窓生からの不要本の寄贈を受け付けます。

- 高校生にとって有益だと思われる本を送ってください。（新本・古本を問いません）
- 古本の場合、マーカーなどの線があるとか、書き込みのあるものはご遠慮ください。
- 本の内容によって図書室蔵書入りするものと、東雲祭での古本販売に行くものと分けますが、分け方は母校図書室・図書委員にお任せください。
- 寄贈図書の宛先は

〒263-0021

千葉県稲毛区轟町1丁目18-52

千葉県立千葉東高等学校 図書室 宛

電話 043-251-9221

尚、誠に恐縮ですが予算がないので送料着払いにご遠慮申しあげます。万一、お送りいただいても受け取り拒否になりますのでご了承願います。

★☆☆。○○○。☆☆。○○○。★。○○○。☆☆。○○○。★。○○○。☆☆。○○○。☆☆★○○○。☆☆。○○○。★。○○○。☆☆。○○○。★。○○○。☆☆。○○○。☆☆★

国語科準備室空調

昨年度の流し台に引き続き、このたび同窓会のお心遣いで空調を設置していただきありがとうございます。

いままでは夏の暑さ、特に本年度は耐震工事の騒音、ほこりのため窓を開けることができず、不安な梅雨入りを迎えましたが、お陰様で、熱中症等の心配もなく、夏場の教材研究に専念することができました。

同窓会の皆様にあらためて国語科職員一同より感謝申しあげます。本当にありがとうございました。

（国語科教諭 時澤眞由美）

同窓会からの支援に感謝

本校の生徒棟4階中央には3学年職員室があり、その年度の学年主任と学年職員が数名常駐します。この部屋の真下の地面には、教室用エアコンの巨大な室外機が数台あり、室内通路の壁と教室棟の壁がちょうど煙突のような形状となって、室外機から発する熱風を真上の学年職員室まで運びます。隣接する4階外通路の照り返しと相まって、夏は過酷でした。しかし今夏、同窓会のご厚意によりエアコンが入って快適な空間の中で生徒指導資料作成などに注力できました。誠にありがとうございました。

（3学年主任 教諭 水鳥 治行）

国際交流派遣報告

米国 クラークストン高校

海外派遣に際して同窓会より頂いたご厚情に対して感謝の念を伝えられる機会を与えて頂き、嬉しく思います。

私が引率参加した米国派遣は、一現地での日常的交流を通して英語によるコミュニケーション力を養い、「国際的視野を持つ」人間の育成を図る—というグローバルな現代社会の要請に応える明確な目標と、一発表授業を通して発信力、表現力、受信理解力を身につける—といった現実的で具体的な計画に基づいて行われ、〈実践〉だけが持つ、厳しく難しい、だからこそ喜びや成果の大きな教育活動だと思います。♪行けば分か〜る、行かなくちゃ分からない〇〇ハウス♪というCMではないですが、千言万語を尽くさずとも、実際に参加した生徒の成長、変容がその証左と言えるでしょう。

最近、日本文化や技術力の高さ、篤実な日本人の心性等を礼賛するメディアの風潮が日立ちますが、外国人に賞賛されることでアイデンティティーを確認するよりも、〈双方向〉交流によって、問題意識をレベルアップさせ、自身の中のものさし(価値観や信念)を築くことが、真の異文化交流に繋がるのではないかと考えます。そうした意味で同窓会からのご支援は、現地での積極的活動に大きなバックアップとなりました。これからも次代を担う有為の人材育成にご理解、ご支援をお願いして、お礼とさせていただきます。有難うございました。

(引率教諭 池田富美子)

豪州派遣を終えて

今年度が初回となった豪州派遣ですが、これは本校の同窓生でもある渡邊茂通前校長先生の発案で始まった事業です。本校の国際交流としては、これまで米国への派遣を続けて参りましたが、昨今のグローバル化推進の情



勢に鑑みて、もっと多くの生徒に国際交流の機会を提供したいという渡邊先生の思いが結実したものです。8泊9日(うちホームステイ6泊)という日程を、現地で生き生きと消化していく生徒たちを見て、この派遣の意義を痛感したことでした。

さて後先になりましたが、出発に際し、同窓会より多大なる御芳志を賜りました。



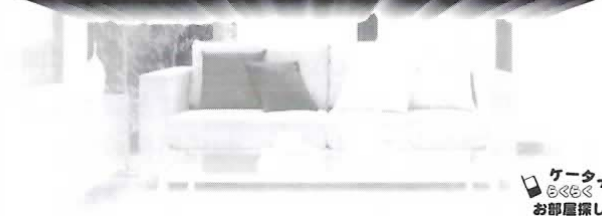
シドニー大学にて

団体行動での海外渡航において、何かと出費があり、有難く使わせていただきました。深くお礼申し上げます。

(引率教諭 西之園省三)

あなたが住みたい町のアパート・マンション

お部屋探しはおまかせ下さい!!



同窓会副会長・県議会議員 山中 操

髙品ハウジング

アパマンショップ

千葉県市若葉区高品町1585 | ☎ 043-232-0006

千葉県テレビ 毎週日曜日 22:00~22:30
当社提供『村口史子のグッドゴルフ』にて CM放送中



JR京葉線 **蘇我駅東口前**

不動産のことならおまかせ!!

おかげさまで創業50年



不動産の売買・仲介
賃貸借・総合管理
ご相談下さい!!

堤 清司 (昭和53年卒)

三幸商事株式会社

TEL.043-263-3535
FAX.043(265)4488

〒260-0842
千葉県中央区南町2-17-11
http://www.sanko-shouji.co.jp

先輩出前講座

「世界を結ぶことわざ、ことわざが世界をつなぐ」

講師 時田 昌瑞氏 (高校第16回S39卒)

平成26年10月30日、本校生徒を対象に、時田昌瑞氏による、ことわざに関する特別講座が母校講堂で開催されました。

氏の長年にわたる研究成果をご披露頂き、生徒たちも興味深く聞いていました。

受講した生徒のコメント (抜粋)

Aくん：ことわざがこんなに多い〔日本で5～6万、世界で30万〕とは思っていなかった。とくに「一石二鳥」が中国ではなく西洋のことわざであると知ってとても

驚いた。

Bさん：ことわざは、昔と今を、日本と世界を、どちらもつなぐ大事なものであることがよくわかった。この講演を聞いてとても良かった。

Cさん：ことわざを国際交流の一つの手段として活用できればいいと思う。

尚、時田氏は岩波書店「ことわざ辞典」の著者でもあります。

(記事提供：岡本 修一 先生)



尚、同窓会では、生徒のためになる講座の開設と講師を募集しています。自選・他選を問いません。良い話を聞かせてくれる卒業生がおられましたら同窓会事務局までご一報ください。

在校生 バンザイ!!

音楽3部定期演奏会 ―寄り添える幸せ―

なぜ毎年定演に行くのか？吹奏楽部OBとして思いを同じくするから？いや今年はそれ以上に、「寄り添える幸せ」を噛み締める目的だったような気がする。

音楽部 (3月28日)

無伴奏による合唱・アンサンブル、日本民謡のステージのほか、浦島太郎風の合唱劇「猫の恩返し」があった。中学の同級生も駆け付けた中、3年部長は先輩や後輩、3年部員一人一人にお礼を言う。勇退される顧問居石先生は「人生のたった3年だが今後とも音楽を好きになってくれれば」との思いから、僅か2年とは思えない濃密な時間を寄り添ったという。

吹奏楽部 (5月4日)

クラシカルな第1部、劇を交えた第2部、ジャズやブルスロックのある第3部の演奏は年々レベルアップ。一方で老朽化した楽器を買い替えるため、保護者会が発足して支援金を募り始めたところ。最後に部長は「部長の

立場は時には孤独だったが、それでも願い通り51人全員が揃ってついてきて、多くの人が支えてくれたお陰で、アンサンブル大会や地区音楽会も含め夢のような時間を持てた」と挨拶していた。

マンドリン部 (5月11日)

挑戦の年として、昨年の定演直後にTDRのミュージックフェスティバルに応募して落選したがそれを通して団結力ができ、定演50日前頃になるとおっとりした雰囲気から不安を抱えつつもみんなで走り出す雰囲気になった、と指揮者は語る。毎年のように多数の卒業生が編曲や演奏指導などで寄り添い、毎年恒例のラグビー部員が不在の中で代理の男子生徒らが第4部を盛り立てる。そして生徒も含めた多数の聴衆は、そのアイコンタクトを交わし寄り添い合う響きを、肌で感じていく。

なぜみんなそこまで、損得勘定もなく寄り添えるのだろうか？それは自分が寄り添うことで相手が幸せになり、

それを見ることで寄り添った自分の方も幸せな気持ちになれるから。その幸せになれる寄り添いが、この定演という場所では凄まじく繰り上げられる。

その寄り添える幸せの一人になり、また行こう。

(同窓会書記 市原 俊介 高校第45回H5卒)

音楽関係日程表

平成27年度の定期演奏会は下記のとおり予定されています。ぜひ後輩たちの演奏をお楽しみください。

音楽部	平成27年3月25日(水)	13:30開演	JR千葉駅前	京葉銀行文化プラザ	無料
吹奏楽部	平成27年5月4日(月)	14:30開演	JR東千葉駅	千葉市民会館大ホール	無料
マンドリン楽部	平成27年5月17日(日)	16:00開演	JR東千葉駅	千葉市民会館大ホール	300円

2014年東雲祭参観報告

(来場者6,000人を超えました)

疾風怒東

7月12日(土)と7月13日(日)、東雲祭が開催された。

例年よりも早い日程と好天に恵まれ、来場者は合計6000人以上、昨年比約1000人の増となった。管理棟の耐震工事のため、裏側を大きく回り中庭に建てられたプレハブの昇降口から入る不便はあったものの、ひとたび入れば例年と同じ東雲祭の賑わいがあった。

3年生9クラスは全てミュージカルであり、今年はディズニーものが6クラスを占め人気をさらった。特に東雲祭大賞を受賞した4組「アナと雪の女王」は、整理券の列に30分前から並んでも取れない状況。その中で私は、継母が魔法で時間を戻して運命を変えてしまう2組「シンデレラⅢ」、1組「白雪姫」で、生徒たちの日常を脱した目を見張る歌や踊りにより、魔法の世界へといざなわれた。ディズニーもの以外は7組「キャッツ」、8組「ウェストサイド物語」、5組「マンマ・ミーア」といずれも劇団四季もので、東雲祭では何度も上演されている。人気ディズニーものに押されている中で、いずれも歌や踊りの演技、衣装などの道具とも完成度が高く、我々大人が十分に楽しめるもの。これはひとえに東雲祭において、これらの演目が伝統として定着し、成熟していったことの表れといえよう。

ミュージカル以外にも、目を見張る展示などがあった。物理部と化学部では演示実験があり、実験装置や発表用ポスター資料などは私が在校した頃では考えられない完成度で、プレハブ2階でアクセスが悪いのが惜しい。音楽部はセミナーハウス2階に設けられた手狭な音楽室で、小所帯ながらも清々しい合唱を聴かせてくれた。1年生や2年生の各クラスにおいては、メイド喫茶など純粹に来場者を楽しませる模擬店があるかとおもえば、昨今大人気の非公式ゆるキャラ「ふなっしーまがい」が校舎内にあちこち出没するという微笑ましい一幕もあった。

さて、今年のテーマは「疾風怒濤」ならぬ「疾風怒東」、それは彼らが正に直面する状況そのものと重なるようにも思えた。管理棟の耐震工事による出入りや使用教室の制約、時期が早まったの準備期間の短縮、夏季高校野球の試合と重なり野球部や吹奏楽部などの生徒の不参加、など例年経験しないような困難が多々ある中での開催となったようだ。だがその中でも一致協力して時間や人をやり繰りして何事もなかったかのように仕上げ、それどころかむしろ、その疾風怒濤を追い風に変えるかのように、その困難をネタにして楽しむ余裕さえ見せる。それはある意味、勉強も部活動も何もかも手掛け、体調を崩そうとも大学受験の本番に力を発揮し合格を掴み取る「文武両道」そのものかもしれない。

東雲祭はそんな東高の精神に会える、またとない場所なのだということを、その若い躍動から感じ取ってみよう。

(同窓会書記 市原 俊介 高校第45回H5卒)



東雲祭中夜祭



東雲大賞発表

進路指導部 26年度進路状況

過去3年間の卒業生の進学状況

進路進学指導重点校としての進学目標数値

①国公立大学80名以上の現役合格 ②難関私立大学100名以上の現役合格 ③現役合格率70%以上を達成するために日々の授業の充実に努めている。

教員によってウェイトの置き方は異なるが、熱心、厳しい、丁寧をモットーに指導している。

現役のみ	H25卒業	H24卒業	H23卒業
国公立大学	87名	97名	81名
難関私立(早稲田・慶応・上智・理科)	101名	119名	69名
現役進学率	71%	76%	69%

その結果、下表のように、ここ2年は①②③全てクリア出来た。

今年度からは、新しい校長のもと、進学目標数値を

①国公立大学100名以上の現役合格 ②難関私立大学110以上の現役合格 ③現役合格率70%以上を達成と上げて、達成できるよう職員一同努めている。

浪人した生徒も苦しい思いはしたであろうが、良い結果を残している。
(進路指導部長 鈴木 仁)

(参考) 現浪合計	H25	H24	H23
国公立大学	133名	146名	129名
難関私立(早稲田・慶応・上智・理科)	148名	213名	135名
明治・青学・立教・中央・法政	228名	304名	268名

卒業生バンザイ

各地で同期会・支部会・地区会 活発に開催

平成26年7月20日(月)海の日。好天気の中、山武グリーンカントリークラブにて、元母校校長の長妻孝治先生はじめ多数の同窓生、旧職員の先生方とともに東雲会交歓ゴルフコンペをいたしました。新ペリア方式での結果は、優勝安川民恵氏(49/44 H2040 N72.6 以下別表の通り)で、昨年に続き連覇達成です。

大きなスイカをはじめたくさんの野菜が賞品として授与され、大満足の様子でした。

また、毎年恒例の“次々と新しいメンバーが生まれますように”との思いを込めた「生みたての卵と沢山の野菜」の参加賞は、タマゴが鳥インフルの影響で不足したために野菜だけでしたが、終了後のパーティーでは、それぞれ母校での思い出や先生方との触れ合いなどが語られ、大変盛り上がり来年の再会を約して散会しました。

平成27年も7月20日(月)海の日に開催いたします。



スタート前の勢揃い

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【優勝者 安川 民恵さんのコメント】

収穫したてのスイカやメロンといった賞品を楽しみに毎年参加させていただいています。

今回はなんと連覇を達成！これも和気藹藹とした雰囲気の中で楽しくラウンドできたお蔭と思っています。ありがとうございました。

(幹事 澤田 繁信 高校第23回S46卒)

お申し込みお問い合わせは

澤田(☎043-261-4528 ギャレックスチバ株式会社)まで。
(ただし、お申込みお問い合わせの受付時間は昼間のみですのでご協力ください)

東雲会 ゴルフコンペ 順位表(敬称略)

順位	氏 名	GROSS	HDGP	NET	備考	順位	氏 名	GROSS	HDGP	NET	備考
1	安川 民恵	93	20.4	72.6	優勝	9	浅田 明文	100	21.6	78.4	
2	安岡 一昭	91	18.0	73.0		10	時田 紀夫	99	19.2	79.8	
3	濱井 清之	87	13.2	73.8	BG	11	長妻 孝治	109	28.8	80.2	
4	矢代 正人	87	12.0	75.0	BG	12	高山 善則	100	18.0	82.0	
5	中村由貴彦	91	15.6	75.4		13	岩崎 智代	104	20.4	83.6	
6	澤田 繁信	91	15.6	75.4		14	奥田 雅之	91	7.2	83.8	BB
7	相原 薫	93	16.8	76.2		15	時田 秀男	121	32.4	88.6	
8	井戸川 浩	101	24.0	77.0							



優勝者の安川さん(右)

書のグループ展 “漕” 2014開催

今回の漕展は10月10日～15日まで西千葉駅前ギャラ



後列左から 中村、内海、石井、白井
前列左から 林(破)、湯浅、林(一)の各氏(敬称略)

リー古島にて開始されました。従来のメンバーに新たに中村さんが加わり総勢7名となりました。

会場の関係で、小品の額・軸作品が中心でしたが、中に全紙1/2の半切の作品や折帖もありました。

また、漢字(篆書・行書・草書)、かな、漢字仮名交じり書や篆刻・書画・日本画と個性的でバラエティーに富んだ作品が展示されました。展示は一人当たり4～5点と多種多様で、多くの来場者に楽しんでいただき、盛会のうちに終了しました。

来年も10月20日(火)～25日(日)まで、こみなと稲毛ギャラリーで開催の予定です。

旺盛な活動をご覧いただきたいと思いますのでぜひ一度足をお運び下さい。(林 一己 高校第18回S41卒)

50年を超えて美術部OB 暖流会展 開催される

母校美術部OB有志による暖流会展が平成26年8月27日～9月1日の間、市内の画廊ジュライにて第37回目となる展覧会を会員30余名の作品に加え、当時の美術部顧問故草葉 章先生の賛助出品で行いました。

この会は母校が千葉第三高等学校とよばれていた頃からの美術クラブ同窓生60余名によって構成されております。今回展示の来観者は200人近くになりました。

思い返せば、在学中の文化祭にはじまり先輩諸氏の国松画廊でのグループ展や、卒業後千葉市内の東電サービスセンター、奈良屋デパート、ショッピングセンターなどの発表会を含めるとすでに50年以上も続いていることになります。(暖流会はS52結成)

暖流会メンバーは、学校で美術教師をしていたり、企業で美術関連の仕事をしていたりして活躍しています。

世間と同様、高齢化の傾向はわれわれの会にも現実の問題となっています。この集まりを継いでくれる次世代の後輩を多く募り、将来の発展を期したいというのが我々の切なる願いです。幸い一昨年母校の美術の先生と



して着任した乳井亜樹先生は私たちの後輩で、在校生の活動の情報や暖流会との交流のきっかけができればと期待しています。(暖流会会長 戸塚 主税 高第13回S36卒)

暖流会事務局

〒266-0005 千葉市緑区誉田町1-780-39

TEL 043-292-8625 小川方

平成27年 暖流会展 日程 8月27日(木)～
多数のご来観をお待ちしています。

関 法律事務所

- ・法律相談 ・遺産相続
- ・不動産 ・顧問弁護士
- その他



弁護士・千葉県議会議員 関 政幸
(1998年卒)

〒266-0031 千葉市緑区おゆみ野3-7-2-605
TEL 043-291-5525 FAX 043-291-5526

田沼 行政相談所

- ・行政相談(市政・国政)
- ・力仕事
- ・その他、お困り事



所長・前衆議院議員

田沼 隆志
(平成6年卒)

〒263-0043 千葉市稲毛小仲台2-6-1 京成稲毛ビル2階
TEL:043-253-9610 FAX:043-253-7255

野球部OB会通信

1. 平成26年 5 月31日(土) OB会総会

於：京成ホテル・ミラマーレ

藤代会長ならびに代議員14名の出席のもと開催されました。前年度の事業報告・決算報告・今年度の事業案・予算案が審議され、いずれも承認されました。

引き続き懇親会に移り、飯生監督はじめ、保護者会から林さん、斉藤さんにご臨席頂き、藤代会長をはじめそれぞれの方々から挨拶をいただいてパーティーに移り、母校野球部の一層の発展と支援を誓い合いました。

2. 第35回千葉県高校野球OB野球大会

今年度は、当初 6 月 8 日に予定されていましたが、悪天候のため、6 月15日に延期されました。

しかし、現役世代は予定が立てこんでおり、人員確保がかなわず残念ながら2年ぶりの不戦敗となりました。

野球大会は、若い会員の参加が欠かせません。卒業間もない方々の多数の参加が望まれるところです。

3. 平成27年 1 月31日(土) 新年会

於：京成ホテル・ミラマーレ

藤代会長(S45卒)ほか会員22名、飯生監督、保護者会から斉藤さん、西村さん、また歴代監督の濱井先生、津嶋先生のご臨席を頂きました。

藤代会長、飯生監督の挨拶、宮川先輩(S39卒)の乾杯ではじまり、和やかに歓談。最後に吉原先輩(S46卒)の閉会の辞、万歳三唱、記念撮影で終了しました。

現役部員の支援には、OB会の援助も必要です。今後の支援の仕方も検討したいと思います。ぜひ、来年もたくさんの方々のOBの方々の参集を願っています。

(高橋 敏行 高校第28回S51卒)



昭和21年・22年卒 高女2・3回生のつどい

平成26年 6 月15日(日) 毎年恒例になっている上記懇親会をそごう千葉店“鮎 やまと”にて実施いたしました。

皆、親の介護はもちろんのこと、家族、兄弟、姉妹の入院、通院等のかかわりを頑張ってきて、やっと緊張感が解け、ふと我に返ってみると友人ともども85・86歳になっていました。

今は、一人か二人暮らしが多くなり、人恋しい時です。その時に同期会で1年ぶりに再会できた喜びを満面の笑みで、握手をしたり、跳び跳ねるようにして表現して

ました。

おいしいお鮎を食べながら、満足するまで話し合いました。それでももっと話したいと名残を惜しんだ何人かのともだちが、ティールームに席を変え、時のすぎゆくままにゆったりと話しました。

次回、懇親会は平成27年 6 月21日(日) 12:30～そごう千葉店“鮎 やまと”で行います。一人でも多くの同期の皆さん方のご参加を願っています。

(同窓会副会長 小林美代子 高女第2回S21卒)

昭和34年卒(高校第11回)

3 E 井下田ルームクラス会

平成26年10月10日(水) 千葉市中央区 兵九郎にて井下田ルームクラス会が開催された。

本年は恩師井下田先生の昨年11月の叙勲のお祝いを兼ねており、先生のご希望でウオーターマンの万年筆を記念品として出席者一同でお送りいたしました。

元気でも親や配偶者の介護で手が離せないとか、自身の体調不良などで出席が叶わない事情にある友人たちもいるなかで、少人数とはいえ出席できて、みんなと顔を合わせ、思い出話ができることは大変ありがたいことだと感じました。

井下田先生には、これからもお元気でお過ごしいただ



きたいと念願し、クラスのみならず同様に健康に留意して毎年元気で会えるように改めて誓ったひと時でした。

(井戸川 浩 高校第11回S34卒)

第14回生(S37卒) 同期会開催

第14回卒業の同期会が平成26年3月1日(土)千葉駅前の京葉プラザで開催されました。

小雨の中、それぞれ元気な顔をした友人たちが会場に現れ、受付前で楽しそうに談笑していました。

恩師の井下田先生、藤倉先生のお二方に加えて井戸川



同窓会長の出席を得て、賑やかに開催されました。

同窓会長から最近の学校の様子や、母校生徒の活躍・進路などについて説明していただき、ふだんこういう話は聞く機会がないので、後輩たちの活躍の姿にみな喜んでいました。

この会も卒業後3回目で、約100名の多くの人たちが参加してくれましたが、はじめは互いに顔を思い出すのに時間がかかっても、二次会になってようやく分かったなど、さまざまでした。

この年代になると楽隠居を考えると、外出をする機会も少なくなります。若い頃のように無茶ができないとはいえ、次回も多くの方々に会えることを楽しみにしています。

最後に、この会を開催するに当たり、多くの幹事さんにお世話になりました。感謝申し上げます。

(幹事 荒井 進 高校第14回S37年卒)

生物クラブOB会・錦織先生を囲む会



平成26年10月26日、四街道の『一幸』にて、生物クラブOB会・錦織先生を囲む会を開催いたしました。

この会は、クラブ顧問であった錦織先生を中心に、昭和45年卒業から52年卒業まで共にクラブ活動や合宿などを通じて、親睦を深めてきた仲間が平成12年から2年おきに開催しています。

今回、先生の奥様にも御参加頂き18人が集まり、近況報告や昔語りを楽ししい時間を過ごすことができました。サプライズで、クラブに数カ月在籍した前校長先生の渡邊茂通さんが初参加下さり、学校の近況も伺うことができました。次回は2年後、平成28年に開催予定です。

(永野 秀樹 高校24回S47卒)

母校はタイムマシーン

(高校第26回S49卒 3年2組クラス会)

秋晴れの平成26年10月11日(土)私たちS49(1974)年卒の3年2組45名中30余名が懐かしい母校の教室に集合しました。ホームルームで今日の日直のB君が「今日はタイムマシンの日です。18歳の僕たち私たちに会いに行きましょう!」と宣言し、はじまりました。

学校からは美しいスクールガイドが配布され、卒業生の小宮先生(高校第32回S55年卒)から教室や、美術室、音楽室、図書室、体育館などを案内していただきました。あの校舎の匂いがたまらない!

美術部のDさんは「あの乱雑な美術室で、未来をみつめ、キャンバスに向かっていたわ。」という。彼女は美大からプロのデザイナーになりわれわれのクラス機関誌『ひが高通信』を製作してくれています。(別掲写真参照)

マンドリン楽部のR君は役人人生の傍ら“親父バンド”を率いてドラムをたたいている。

バスケット部のFさんは、いまや法律事務所を仕切る麗わしのキャリアウーマン。水泳部の巨漢V君はプールが無くなったことに残念な思いをしていましたが、いまは甲子園にも出場を果たした東京の私立高校の校長をしている。幹事役のWさんが図書室前で「ここで告白された」と爆弾発言。いまや3人の孫に囲まれているが、実はバツイチとキューートな笑顔で自身の告白。

終盤にみんなは、優等生ながら早世したOk君の存在を思い出していました。落合恵子のラジオを愛し、天地真理がアイドルだったのに4年前に忽然と旅立ってしまった…。

その翌春に東日本大震災が起き、「あの頃のひが高の仲間たちとあっておかねば…、の思いが募り、4年前に

初めてのクラス会をし、今回が4回目。そして卒業後40年ぶりの母校で思ったことは「元気でいられる限り、いつまでだって青春だ!」という楽しい発見でした。

早世の友を想ひて学び舎を訪ね来たれば切なし嬉し

合 掌

(佐藤 修 高校第26回S49卒)



「平成26年10月11日の母校訪問」

(このクラス会企画には母校同窓会、校長先生、事務長さん、そして卒業生で現在本校の先生をしている55年卒業の小宮初喜先生など多くの関係者の皆様のご協力で実現しました。厚くお礼申し上げます。)



「第1回～第4回 集まる毎にカラーパンフレットを作っています」

高校第12回 S 35卒 3年2組クラス会

旧担任 白銀彦太郎先生からのご報告です。

昨年3月30日、3年2組のクラスの皆さんがクラス会をしました。実は、足もとが少々危ない私のことを慮って、現在私が住んでいる老人ホームの直ぐ近くのすし屋で開催してくれ、ご招待にあずかりました。

総勢12名でしたが、久しぶりに皆さんに会うことができ、懐かしい思いを致しました。

女性たちは、さすがにまだまだ若さを残していますが、男性のほうの頭は白くなっている人が多かったように思います。私はといえば、頭はツルツルで、小川 功君が撮ってくれた写真には私の頭だけよく光っているように写っています。



このクラス会は今回が2回目で、ずっと以前に、たしか20数名が集まってくれたのをかすかに覚えている。

とてもうれしい一日でした。(旧担任 白銀彦太郎)

山岳部OB会 シャロンアルペンクラブの活動

千葉東高校山岳部の卒業生からなる“シャロンアルペンクラブ”の活動が活発化して10年になる。

毎年「故郷の山々を訪ねて…房総ハイキング」を2月末に実施している。ご存知のように房総の山々は標高300mそこそこではあるが、森は深く、尾根は急で自然の厳しさを十分に感じさせてくれる。房総の風土・生活を垣間見ながら山々の日だまりを求めて、のんびり歩くことに幸せを感じる。

今年の暮れには、メンバーの快気祝ということで11名が集まり、若いころよく登った丹沢での忘年山行をした。路線バスとロープウエーを乗り継いで大山山頂を目指したが、山頂から富士山を眺めてきたのは4名だけだった。残りはお天気に恵まれた中で、遅い紅葉を愛でながら大山寺や展望台での散策としゃれ込んだ。今宵の宿、中川



平成26年 2月22日 人骨山山頂にて
第9回 ふるさとの山ハイキング 人骨山・津森山

温泉では11名の腹すかし隊が、折角の温泉もさっとすませ、イノシシ鍋などに舌鼓を打った。快気祝用のボジョレヌーボーを始め、飲むほどに酔うほどに話題は尽きず、

夏の上高地で行う俗称“小梨平倶楽部食堂”の再度の開店(?)などで盛り上がり、若き時代の山行・合宿を彷彿とさせるものだった。翌日の雨の中、宿のバスで新松田駅まで送ってもらい方面別に解散した。

27年2月も恒例の房総ハイキングが、神野寺の参道の一つ鹿野山古道で実施される。母校山岳部顧問の先生の参加もあり、年々参加者が増えている。今年もみんなに

会える健康に感謝しながら房総ハイキングを楽しみにしている。なお、(今年は間に合いませんが)このハイキングは東高校山岳部員ばかりでなく母校ゆかりの方ならどなたでも参加できますので奮ってご参加ください。

(シャロンアルペンクラブ代表 小川 秀樹
高校第21回S44年卒)

ラグビー部のOB会活動紹介

千葉県の高校ラグビーは、千葉工業、千葉東、佐倉高の3校が昭和27年(1952年)に創部されたのが始まりで、今年で63年目ということになります。

昭和の年代には、高校ラグビーの聖地“花園”に、千葉工業4回、佐倉高1回、わが母校千葉東は4回出場しています。

最近では、流経大柏が強豪校として立ち上がり毎回無念の涙をのんでいます。

平成26年度の全国大会千葉県予選には、千葉工業は部員不足で合同チームでの出場、佐倉高も部員数の減少に歯止めがかかりません。

翻って、わが母校は、3年4名と危機的状況でしたが、2年11名、1年15名と増え、現役の生徒とともに若手O

Bが練習や合宿を通じて60年の母校ラグビー部の伝統を伝えつつ、花園目指して猛練習を積んでいます。

随分以前に、母校が全国大会に出場した折には、ラグビー部員、一般生徒、先生方、保護者の方々とともに、何台ものバスで応援に行きました。

関西の北野高校との初戦では、今の大阪の橋下市長とあたったことも思い出です。

その折は、同窓会より多額の寄付をしていただいたことを今でも感謝しています。

今後とも一層のご支援を千葉東高校ラグビー部にお寄せいただくようお願いいたします。

(ラグビー部OB 同窓会常任幹事監査役
澤田 繁信 高校第23回S46卒)

母校の生徒諸君に贈ることば Life is challenge



Life is challenge 月並みな言葉ですが、私の座右の銘です。この言葉は片腕の投手ジムアボットが1993年にヤンキースでノーヒットノーランを達成した時のインタビューの言葉でした。先天的に片腕の少年がプロを志し、メジャーリーガーとなりノーヒットノーランを達成する事が出来るのかと、私は強い衝撃を受けました。それ以来、私は迷った時にチャレンジする方向を選べるように、この言葉を自分の拠り所としています。

私は野球ではなく、サッカーにのめり込みました。千葉東から日本体育大学に進学したのも、現役終了後も長くサッカーの携わる為に、体育の教員を考えていたからです。大学4年のリーグ戦が終わり、企業に入り現役として続けるか、教員として指導者の道に入るかが最初の分かれ道でした。その時に当時の市立船橋高校校長の市川恭一郎先生とお会いし、先生の強いリーダーシップに触れ、教員として千葉県に帰ってくる決断をいたしました。

た。市船では多くの先輩方に勝負師としての教えをいただき、私の現在の土台を作る事が出来たと思っています。

20年間の市船時代で全国優勝8回、30人以上のJリーガー(日本代表5名)を輩出できた経験は私の宝物です。

2003年からは日本サッカー協会と契約し、U-17日本代表、U-20日本代表の監督を経験しました。2012年からはサッカー協会で行っている全寮制(中学校1年生～高校3年生)の育成プログラムであるJFAアカデミーのスクールマスターとして働かせて頂きました。

私は来シーズンからは、J2リーグに所属するファジアーノ岡山のトップチームのコーチとして新しいキャリアを始めたいと思っています。これまでは育成年代に携わってきました。ここまでやったのだから最後まで育成年代を貫く考えもあると思います。しかし、私は新しい挑戦をしてみたいと考えました。50代半ばになり、コーチ人生もそれ程長くは残っていないと思います。何が出来るとは分かりませんが、これまでの経験を生かし新しいチームで精進して行きたいと思っています。

(布 啓一郎 高校第31回S54卒
J2ファジアーノ岡山トップチームコーチ)

★ 母校耐震化工事完了 ★

このほど、母校玄関はじめ職員事務室などの管理棟の耐震化工事が平成26年12月末に完了しました。(教室の方は、何年か前に完了しております。)

新装なった母校を是非ご覧ください。これまでの象徴的な建物の表情がなにかスッキリ感じられるのはひいき目でしょうか。

見学はいつでもできますが、その場合は、日時、人数を事務室の方に連絡して都合の確認をしてください。



耐震工事完了後の正面玄関



耐震工事前の正面玄関

(母校事務室)

電話 043-251-9221

同窓会からのお知らせ

1. 住所・姓名などの異動・変更をお知らせください

卒業後、住所や姓名などが変更された場合には母校同窓会事務局までお知らせください。

毎年、会報の「宛先不明」返送数が増加しております。せっかくの情報が届けられませんのでよくご協力のほどお願い申し上げます。

尚、個人情報に関しては、会報発送、同窓会関係の照会・連絡以外には使用いたしません。

2. クラス会、同期会、部活OB会等の記録をお寄せ下さい

同窓会の最小単位はクラスです。まずは、担任の先生を中心にクラス会をまとめてください。

さらに水平展開して同期会へ発展させてください。また、部活OB会は異学年交流の垂直展開です。これも同窓会にとって大事な活動です。クラス会、同期会、部活OB会などの実施報告(写真歓迎)がありましたら、「会名」「時と場所」「参加人員」「幹事感想」「集合写真」など母校同窓会事務局まで毎年12月末までにお知らせください。

(原稿・写真は原則としてお返しできませんのでご承知おきください)

また、「集まりの予告」でも結構です。「シャロンの花」は毎年3月に発行されますので、その後に計画されている集まりの予告、呼びかけをすると効果的です。(原稿は母校同窓会事務局まで)

3. 学校訪問について

同期会やクラス会を企画している幹事さんが、プロジェクター投影用に「思い出の校舎の写真を撮りたい」と、母校をお訪ねいただくことが増えてまいりました。事務室では「母校としては大歓迎ですが、休日の訪問に」対応する事務職員が原則としておりませんので、極力平日に、あらかじめご連絡の上、おこしいたと助かります。」とのことでした。

なお、学校敷地内は全面禁煙ですので、よろしくご協力のほどお願いいたします。

編集後記

第19号はお楽しみいただけましたでしょうか。今号も多くの方々のご協力を頂き、記事満載で総会報告の詳細を割愛せざるを得ないほどでした。

母校の中村副校長先生にはたくさんの記事提供をいただきました。白銀先生には、まさに師弟間交流の鑑ともいえる第12回生3年2組の皆さんとの交流を、老人ホームからご報告をいただきました。

変貌する母校を高校第26回生のみなさんが訪ねてくれました。学校はいつでも卒業生の訪問を歓迎しています。そのほか同期会、クラス会などの催行報告が多く寄せられました。三交活動の成果が現れてきていることは誠に喜ばしい限りです。

今後も、先生との交流を始め、クラス、同期、部活OBの交流を活発に行っていただけることを期待しています。また、「シャロンの花」の編集をしてみたい方、ぜひお声をかけてください。大歓迎です。

(「シャロンの花」編集委員一同)